

## 癌化学療法輸液約束処方 多発性骨髓腫:MM13

癌種  
再発・難治性多発性骨髓腫  
レジメン名  
MM13 トアルクエタマブ

薬品名(商品名)	一般名	標準投与量	投与経路	投与日	1コース期間
タービー	トアルクエタマブ	1回目 0.01mg/kg 2回目 0.06mg/kg 3回目以降 0.4mg/kg	皮下注	漸増期(3回目まで):2-4日おき 継続投与期:1週間おき	7日間
		1回目 0.01mg/kg 2回目 0.06mg/kg 3回目 0.4mg/kg 4回目以降 0.8mg/kg		漸増期(4回目まで):2-4日おき 継続投与期:2週間おき	14日間

タービー mg / 皮下注

### <備考>

- ① 投与1時間前までにアセトアミノフェン600mg、レスタミン50mg、デカドロン16mg内服(漸増期は必須 以降はオプション)
- ② 免疫調節薬、プロテアソーム阻害薬および抗CD38モノクローナル抗体製剤を含む少なくとも3つの標準的な治療が無効または治療後再発の患者に適応
- ③ CRS、ICANSのモニタリングのため、漸増期は48時間は入院管理
- ④ CRSの際は院内のCRS対策フローチャート参照
- ⑤ 休薬期間により投与量をステップアップ用量へ戻す(別紙参照)

### <休薬基準>

Gr4以上の好中球減少、Gr3以上のHb減少またはPLT減少、Gr3以上の非血液毒性  
感染症:漸増期→全Grade、継続投与期→Grade3以上、Grade1-3(初発)のCRS、ICANS

R7.11.17作成